

# あのね、保育の根 No.11

～ふくえんちょうのおたより～ 2月



今年度の“ふくえんちょうのおたより”も最後となりました。気づけばもう2月になりますね…。4月、新学期が始まったばかりの頃の不安でいっぱいだった子どもたちが今では、自信に満ち溢れた表情を見せてくれるようになり嬉しく思います。

さて、今までのおたよりでは、子どもとおとなの“共通する思い”や“それぞれの思いのズレ”、そして“子どもにとってのおとなとは”というお話をさせていただきました。今回のおたよりでは、今までのお話を基盤とし、私自身が今の立場においてもっとも大切にしたいこと「ともそだて」をお話したいと思います。

## ～ともそだてを大切に～

子どもは毎日、園でさまざまな経験をしながら過ごしています。友達と笑い合う時間もあれば、思いが伝わらず泣いてしまうこともあります。言葉にできない気持ちを表情や行動で伝えてくれることもあります。私たちは、その一つひとつの姿に、子どもたちの大切な育ちがあると感じています。

私が大切にしている保育の思いは、「ともそだて」です。それは、子どもを真ん中に、子ども・保護者・職員が対話を重ねながら、ともに育ち合っていくことを意味とします。子ども園だけ、ご家庭だけで育てるのではなく、それぞれの立場から思いを出し合い、同じ方向を向いて子どもの成長を支えていきたいと考えています。

園ではまず初めに、子どもが安心して過ごせることを何より大切にしています。「ここにいていい」「自分の気持ちを出しても大丈夫」と感じられる環境があるからこそ、子どもは自分らしく過ごし、少しずつ新しいことに挑戦する力を育んでいきます。できたことだけを評価するのではなく、やってみようとした気持ち、うまくいかなかった経験、悔しさや悲しさの気持ちにも丁寧に寄り添っています。そのような関わりを重ねることで、子どもは「自分は大切にされている」「失敗しても、またやってみていい」と感じられるようになり、自分を大切に思う気持ち“自己肯定感”が育つことに繋がります。

また、子ども園では園の様子や保育の考え方をできるだけ分かりやすくお伝えすることを大切にしていきたい。日々保育の中で、なぜそのような関わりをして

いるのか、子どもたちがどのような姿を見せているのかを共有することで保護者の皆さまと同じ視点で子どもたちを見守っていきたいと考えます。

保護者の皆さまとの対話も、「ともそだて」に欠かせない大切な要素です。ご家庭での様子や成長、気になることや悩みを教えていただくことは、園での関わりを考えるうえで大きな手がかりになります。うれしいことも、心配なことも、気軽にお話できる環境を整えていきたい。保護者の皆さま一人ひとりと向き合い一緒に考えていけたらと思います。

そして、職員同士の対話も同じように大切にしていきたい。子どもへの関わりについて話し合い、迷いを共有し、互いの考えを尊重しながら、より良い保育を目指したい。おとな同士が安心して話し合える姿は、子どもたちにとっても大切な学びや安心できる場所になると考えます。

子ども園は、

子どもにとって安心して過ごせる場所であり、

保護者の皆さまにとって思いを話し、

共有できる場所であり、

職員にとって学び合い、支え合える場所

で在りたいと願っています。

お話させていただいた内容は、私がこれから目指したい子ども園の在り方です。とても大きな目標とはなりますが、子どもの成長をともに支えていく方々との繋がりを大切に重ねていながら皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

## ～ご挨拶～

今年度の“ふくえんちょうのおたより”は今回で終わりとなります。お忙しい中、おたよりに目を運んでくださった保護者の皆さまに感謝申し上げます。また、来年度も日常の忙しさの中に隙間があった時に目を通していただけたら幸いです。

～おしまい～